

2022年7月19日 制定
2024年4月26日 改訂
大阪市高速電気軌道株式会社

外郭団体が達成すべき事業経営に関する目標【中期目標】にかかる中期計画

大阪市の外郭団体として、大阪市が行政目的又は施策の達成のために当社に求める役割を果たすための当社の計画（以下、「中期計画」という。）を提出する。なお、計画内の一部文言において、大阪市の要綱内の表現等を引用している。

【大阪市が当社に求める役割】

市営地下鉄事業を民営化し当社に事業を移管するに際して策定した「地下鉄事業株式会社化（民営化）プラン」の内容を着実に実現すること

1 中期計画の期間

2022年7月28日から2026年3月31日まで

※ 今般、「Osaka Metro Group 2024年度事業計画」を策定したことに伴い、中期計画を変更するものである。

2 企業理念

私たちは、最高の安全・安心を追求し、誠実さとチャレンジ精神をもって、大阪から元気を創りつづけます。

3 中期計画（期間）における事業経営の目標(※)

(※ 「大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例施行要綱」内の表現)

当社を監理する所管局が作成した中期目標である2025年度までに、ホーム柵全133駅設置、エレベーター18駅増設を達成するため、指標及び目標値を下記のとおり設定した。

【指標】

- (1) ホーム柵設置完了駅数
- (2) エレベーター増設完了駅数

【目標値】

(1) 各年度のホーム柵設置完了駅数

- ・ 2022年度 9駅設置完了（実績値：9駅）
- ・ 2023年度 5駅設置完了（実績値：5駅）
- ・ 2024年度 23駅設置完了
- ・ 2025年度 20駅設置完了

ホーム柵全133駅設置完了

※ ホーム柵設置は、支障移設工事やホーム柵の製作・設置工事、ホーム補強工事等の工事計画をもとに各年度における設置完了駅数を設定

※ 中期目標である 2025 年度までに、ホーム柵全 133 駅設置（中期目標期間中に残り 77 駅設置完了予定のうち、2020 年度に 6 駅、2021 年度に 14 駅、2022 年度に 9 駅、2023 年度に 5 駅設置完了済みのため、本中期計画期間中に残り 43 駅）

(2) 各年度のエレベーター設置完了駅数

・ 2022 年度 2 駅設置完了（実績値：2 駅）

・ 2023 年度 1 駅設置完了（実績値：1 駅）

・ 2024 年度 4 駅設置完了

・ 2025 年度 6 駅設置完了 エレベーター18 駅増設完了

※ エレベーター増設は、支障移設工事や躯体工事、掘削工事、仕上げ工事等の工事計画をもとに各年度における設置完了駅数を設定

※ 中期目標である 2025 年度までに、エレベーター18 駅増設（中期目標期間中に残り 17 駅設置完了予定のうち、2020 年度に 1 駅、2021 年度に 3 駅、2022 年度に 2 駅、2023 年度に 1 駅設置完了済みのため、本中期計画期間中に残り 10 駅）

※ なお、上記「ホーム柵設置」「エレベーター増設」の目標値の各年度とは 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間を示しており、各年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの目標値及び具体的な事業活動の内容は別紙に記載する。

4 中期計画（期間）における財務運営の目標(※)

(※「大阪市外郭団体の事業経営の評価等に関する指針を定める規程」内の表現)

前項の事業経営の目標に加え、「財政基盤の安定性を客観的に示すことができ、かつ、数値で表すことができる指標及び目標の設定」が上記に規定されているため、指標及び目標値を下記のとおり設定した。

【指標】

大阪市高速電気軌道（株）単体の営業利益

【目標値】

各年度の営業利益（見通し）

・ 2022 年度 120 億円（実績値：177 億円）

・ 2023 年度 240 億円

・ 2024 年度 310 億円

・ 2025 年度 410 億円

※ 上記営業利益の目標値の各年度とは 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間を示す。

(注1) 上記営業利益について「Osaka Metro Group 2024年度事業計画」策定に伴い、見直す。

(注2) 上記営業利益の前提条件

(1) 交通事業の前提条件 ※利用額割引マイスタイルは定期を含む
各年度の乗車人員がコロナ前水準と比べ次のとおり推移すると見込む。

- ・ 2022年度 87%程度（定期：91%、定期外 84%）
（実績値：87%程度（定期：89%、定期外 85%））
- ・ 2023年度 93%程度（定期：89%、定期外 97%）
- ・ 2024年度 101%程度（定期：94%、定期外 109%）
- ・ 2025年度 103%程度（定期：93%、定期外 112%）

(2) 生活支援サービス事業・マーケティング事業の前提条件

新規事業については、市場調査やリスク分析等を十分に行ったうえで実施することとしており、市場環境の変化により数値が変動する場合がある。

(3) 都市開発事業の前提条件

新規アセットの開発、取得については、市場調査やリスク分析等を十分に行ったうえで実施することとしており、市場環境の変化により数値が変動する場合がある。

「外郭団体が達成すべき事業経営に関する目標【中期目標】にかかる中期計画」において 事業経営の目標とした「ホーム柵設置」「エレベーター増設」について、各年での目標値及び 具体的な事業活動の内容は下記のとおりである。

【ホーム柵設置】

指標（１）	ホーム柵設置完了駅数
2022年 (令和4年)	【1月～12月の目標値】 10 駅設置完了（実績値：10 駅設置完了）
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、支障移設工事やホーム柵の製作・設置、ホーム補強工事等を順次進め、2022年12月末までに10 駅設置完了する。 なお、引き続き翌年以降の設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2023年 (令和5年)	【1月～12月の目標値】 4 駅設置完了（実績値：4 駅設置完了）
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、支障移設工事やホーム柵の製作・設置、ホーム補強工事等を順次進め、2023年12月末までに4 駅設置完了する。 なお、引き続き翌年以降の設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2024年 (令和6年)	【1月～12月の目標値】 21 駅設置完了
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、支障移設工事やホーム柵の製作・設置、ホーム補強工事等を順次進め、2024年12月末までに21 駅設置完了する。 なお、引き続き翌年以降の設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2025年 (令和7年)	【1月～12月の目標値】 20 駅設置完了
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、支障移設工事やホーム柵の製作・設置、ホーム補強工事等を順次進め、2025年12月末までに20 駅設置完了する。

※ 工事計画の変更、工事の進捗状況により各年の設置駅数は変更となる可能性がある。

※ 中期計画の事業経営評価対象期間中（2022年1月～2025年12月）、55 駅設置完了予定。

※ また、2025年度末（2026年1月から3月）までにさらに6 駅設置完了し、中期目標期間中に77 駅設置完了予定。（2020年5月から2021年12月末までに16 駅設置済み）

【エレベーター設置】

指標（２）	エレベーター増設完了駅数
2022年 (令和4年)	【1月～12月の目標値】 2駅設置完了（実績値：2駅設置完了）
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、2023年設置完了予定駅の掘削工事を進め2022年12月末までに2駅増設完了する。 なお、引き続き翌年以降の設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2023年 (令和5年)	【1月～12月の目標値】 0駅設置完了（実績値：すべて工事中）
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、掘削工事、躯体工事等を順次進める。 なお、引き続き翌年以降の設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2024年 (令和6年)	【1月～12月の目標値】 1駅設置完了
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、仕上げ工事等を順次進め、2024年12月末までに1駅増設完了する。 なお、2025年設置予定駅についての現地調査、設計、発注及び工事等を進める。
2025年 (令和7年)	【1月～12月の目標値】 4駅設置完了
	【具体的な事業活動】 工事計画をもとに、現地調査、設計、発注及び工事等を進め、2025年12月末までに4駅増設完了する。

※ 工事計画の変更、工事の進捗状況により各年の設置駅数は変更となる可能性がある。

※ 中期計画の事業経営評価対象期間中（2022年1月～2025年12月）、7駅設置完了予定。

※ また、2025年度末（2026年1月から3月）までにさらに6駅設置完了し、中期目標期間中、17駅増設完了予定。（2020年5月から2021年12月末までに4駅設置済み）